

2013年ABAC第2回シンガポール会議ニュースリリース【仮訳】

アジア太平洋のビジネス界のリーダー達は、地域経済統合深化のために APEC貿易担当大臣宛てに提言を提出した

APECビジネス諮問委員会（ABAC）のメンバーであるアジア太平洋のビジネス界のリーダー達は、地域経済統合の深化によって域内に一層の繁栄をもたらす方策についての提言構築をシンガポールで引き続き行った。これらの提言は本年10月にバリ島でAPEC首脳に手交する。今回の会議でのABACの直近の課題は経済統合、特に物品とサービスの貿易投資に関連する分野の提言を、4月21日にスラバヤで会合を持つAPEC貿易担当大臣に提出することであった。

APECビジネス諮問委員会（ABAC）のメンバーであるアジア太平洋のビジネス界のリーダー達は、4月20-21日にスラバヤで開催される貿易担当大臣会合に提出する提言に合意して、シンガポール会議を締め括った。大臣はAPEC地域における地域経済統合の進展状況を確認し、一層の深化を図るため今後の方策を議論する。

ABACは常に、より緊密な経済統合がAPEC地域の直面する成長と安定への課題への対応であると主張してきた。この点においてABACが大臣に要請するのは、経済統合への道を外さずに、アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）を実現するための行動をを加速させ、海外直接投資の流れを強化し、サービス貿易投資の成長を促進し、サプライチェーン・コネクティビティを改善することである。

政府のこれらの行動による最大の受益者は民間部門なので、政策立案段階における民間部門からの情報提供は有効であり、実行段階において民間部門が確実に参画するということが、年を追って明らかになってきた。この目的を達成するためにABACは、様々なステークホルダー、一特に民間部門と政策立案者との関与による相互交流を通じて共通の課題に対する効果的な対策を構ずるための新しい仕組みを提案してきた。このようにしてABACはAPEC当局と連携して、食料安全保障やインフラ開発、金融市場、イノベーションなどの複雑な問題についての官民の政策対話連携の創設を主導してきた。

APEC食料安全保障に関する政策パートナーシップ（PPFS）はABACからの長期間にわたる提唱により昨年APECロシア年に実現した。昨年第1回会議では、地域における食料安全保障をもたらすために行動計画の概要を構築した。PPFSはシンガポールで運営会議を開催し、業務計画を立案することになっている。アジア太平洋金融フォーラム（APFF）もまた、ABACが提案し、APEC財務大臣に歓迎された、新しい仕組みである。APFFは地域の金融市場が発達する際に官民協力を育成するように作られている。APFFは組織会合を4月にシドニーで開催する。2年前に開始したアジア太平洋インフラ連携対話は、インフラプロジェクト、特に

民間部門の参画したプロジェクトの効果的な実行に影響した諸問題を検討することを目的としており、既に多くのAPEC参加国・地域で対話が行われている。

「益々複雑にまた分野横断的になった諸提言に我々は取組んできたが、このアプローチには、ABACにとっての本当の配当が見られる。」とインドネシア委員であり2013年のABAC議長であるヴィシュヌ・ワルドハナ氏は言った。また、このアプローチが有効である2つの新しく重大な問題について特に言及した。「サービス貿易投資は常にAPECの課題だったが、どういうわけか注目されなかった。注目を受けるに値し、アジア太平洋地域にとって重要にも関わらずだ。」とワルドハナ氏は続けた。「願わくば、4月17日にスラバヤでABAC/APEC両インドネシア議長の共同で開催されるサービスに関する官民対話が推進力となって、APECがサービス貿易投資の機能的な作業計画を構築し、民間部門の活発な参画を促すことを希望する」

その他の課題は、インドネシア議長のイニシアティブに関連したものであるが、物品の物理的な移動や人と人のつながり、制度の構築等を網羅する連結性への包括的且つ協調的な取組みを促進する為のイニシアティブである。このことは、貿易、投資とソフト及びハードのインフラを含むサービスという一連の複雑な課題をひとつにまとめることを要する。ABACは、このイニシアティブを支える複数年に渡るアジェンダをAPECと共に策定し、民間部門の参画、投資、イノベーションを最大化するための方策を示す用意があるとワルドハナ氏は語った。

上記に加え、ABACはFTAAPやFDI（海外直接投資）についての提言をAPEC貿易担当大臣に提出する予定である。ABACはFTAAPに至る筋道 - 環太平洋連携（TPP）とASEANが主導している包括的連携（RCEP）を含む - が最終的にFTAAPに合流することを保証するよう大臣に要請する。会議の参加者たちは日本のTPP交渉への参加発表を今回の会議中に知ることとなった。FDIについてABACが大臣に要請するのは、それぞれのエコノミーがFDIに対し引き続き開かれているよう主導すること、FDIが成長と雇用創出のためになることを説明することである。ABACはFDIへの障害低減やその価値について一般認識を向上させることについての提言を作成する。

ビジネス界のリーダー達は、テオ・チー・ヒン首相代理に大統領官邸へ招かれた。首相代理は、域内の繁栄を促すためにビジネス界と政府が共に活動することが重要であると強調し、その意味でABACの役割を称賛した。また特に、ABACの長年にわたるSMEへのサポートや、ABACの主導するイニシアティブである官民インフラ対話について言及し、成長への障害に取組む際に民間部門がどう政府と協働するかの有益なモデルとなると語った。